

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	障害児・者生活サポート事業	所管	保健福祉部 障害福祉課
			TEL 2998-9116

事業の目的 (何の為に 行うか)	障害者の外出機会確保やその家族の多様なニーズに迅速かつ柔軟な対応を図る。
------------------------	--------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者	対象とした数	8,969	人
		実際に 利用した数	286	人

活動の内容 (何を したか)	【移動支援事業などを受けられない障害者に対する外出支援事業】 1 利用者は、毎年度市に申請を行う。 2 市は、申請に基づき決定を行ない(一人年間150時間を限度)、利用券を交付する。 3 利用者は、登録団体(児業者)に利用の申込みを行い、支援を受ける。 4 登録団体からの請求に基づき、市は補助金を交付する。								
	活動実績	項目名	総利用時間数	12844	項目名	利用者数	286	項目名	単位
			単位 時間			単位 人			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	27,994	29,176	31,337	92.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用者一人当りの利用時間	総利用時間数÷利用者数	150 単位 時間	44.91 単位 時間	29.9 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	040322	障害児・者生活サポート事業	保健福祉部 障害福祉課			
開始年度	平成 11 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	障害者支援担当			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市障害者計画			障害児者生活サポート事業実施要綱				
	関連・類似事業	全身性障害者介護人派遣事業(障害福祉課)、移動支援事業(障害福祉課)							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱	2 福祉施策の充実	小柱	(2)在宅福祉サービスの充実
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 26 位		実施計画における位置づけ…				H19	<input type="radio"/>	H20
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		1311 ユニバーサルデザインの推進		コード	1231 市民組織の自立支援				
事業開始の背景		単独で外出をすることが困難な障害者の外出機会の確保や生活圏の拡大、また、障害者の多様なニーズに迅速に対応する必要性から開始された事業である。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	障害者の外出機会確保やその家族の多様なニーズに迅速かつ柔軟な対応を図る。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者					事業の利用者				
	対象数	単位	平成 18 年度	8,762	人	利用数	単位	平成 18 年度	204	人
		平成 19 年度	8,969	人			平成 19 年度	286	人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
【移動支援事業などを受けられない障害者に対する外出支援事業】										
1 利用者は、毎年度市に申請を行う。										
2 市は、申請に基づき決定を行ない(一人年間150時間を限度)、利用券を交付する。										
3 利用者は、登録団体(児業者)に利用の申込みを行い、支援を受ける。										
4 登録団体からの請求に基づき、市は補助金を交付する。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)								
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										
類似サービスである障害福祉サービスの通院介助・重度訪問介護・行動援護や移動支援事業とのサービスの使い分けについて、その調整に努めた。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		27,000	27,994	30,980	
	決算(見込み含む)		24,756	29,176		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.31 人	2,852	0.23 人	2,161
	公債費					
	事業費合計		27,608	31,337		
	財源内訳	一般財源		22,408	26,137	25,780
		国・県支出金		5,200	5,200	5,200
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)			81.7	92.4		
利用数一単位あたり(単位:円)			135,333.3	109,568.6		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	総利用時間数	利用実績による	時間	11270.5	12844	13000	
		利用者数	実績による	人	204	286	300	
	成果分析	利用者一人当りの利用時間	総利用時間数÷利用者数	目標値	150	150	150	
実績				55.24	44.91		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
%				達成率	36.8	29.9		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	障害者の外出支援としては、本事業の他、平成18年10月から実施している地域生活支援事業の移動支援事業や、障害福祉サービスの中の重度訪問介護事業等があるが、事業間の調整を図り利用者にも効果的な支援を行うようにしている。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定		引き続き、現行水準の事務処理の維持に努める。		平成20年度末
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
障害者の社会参加に意義深い事業であり、継続支援が必要と判断する。利用者には、自己負担(1/3)を設けている事業であること、生活サポート事業を実施する事業所が増加することなど、事業のコストの削減は困難と考えられるが、予算措置は現状どおりとする。					
評価日		平成20年4月30日	記入者職氏名		障害福祉課長 森田 昇

⑨評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	評価日					

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2155
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援			
施策の方向	5障害児施策の充実				